

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2002-107692(P2002-107692A)

【公開日】平成14年4月10日(2002.4.10)

【出願番号】特願2000-296223(P2000-296223)

【国際特許分類第7版】

G 0 2 F 1/133

G 0 9 F 9/00

G 0 9 G 3/34

G 0 9 G 3/36

【F I】

G 0 2 F 1/133 5 3 5

G 0 9 F 9/00 3 3 6 J

G 0 9 F 9/00 3 3 7 C

G 0 9 G 3/34 J

G 0 9 G 3/36

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月28日(2005.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】バックライト装置及びそのバックライト装置を備えた表示装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

任意数の発光体からなる発光ユニットを複数備え、前記複数の発光体ユニットを一定の周期で点滅制御することで、表示装置における表示画面の輝度を調整可能なバックライト装置であって、

前記複数の発光体ユニットの点滅位相を相互に異ならせる点滅位相制御部を設けたことを特徴とする、バックライト装置。

【請求項2】

前記点滅位相制御部は、前記複数の発光ユニットの点滅位相を、相互に等しい角度ずつ異ならせる、請求項1に記載のバックライト装置。

【請求項3】

前記表示画面は、ほぼ矩形であり、

前記発光ユニットは、前記表示装置の所定の位置に、前記表示画面の互いに対向する1対の平行な辺に沿ってそれぞれ1個設けられており、

前記点滅位相制御部は、前記2個の発光ユニットの点滅位相を互いに180度異ならせる、請求項1または2に記載のバックライト装置。

【請求項4】

前記表示画面は、ほぼ長方形であり、

前記表示画面の互いに対向する 1 対の平行な辺は、長辺である、請求項 3 に記載のバックライト装置。

【請求項 5】

前記発光ユニットの発光体は、冷陰極線管である、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のバックライト装置。

【請求項 6】

前記点滅制御は、PWM (pulse width modulation) 制御を用いる、請求項 1 に記載のバックライト装置。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のバックライト装置を備えた表示装置。